

令和3年 第2回（3月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

議案第3号から議案第5号までの3件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第3号 筑紫野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定』の件について、ご報告いたします。

本件は、国民健康保険税の税率等を改めるため、条例の一部を改正するものです。

執行部からは、医療費適正化や収納率向上の取り組みに努めるとともに、今年度の税率改定による税込増加で、収支の改善を行ってきたが、被保険者の減少傾向や治療費の高額化などにより、不足する財源を一般会計から繰り入れなければならない厳しい財政状況が続く見込みであることから、今後も安定的な国民健康保険事業運営を図っていくために、国民健康保険税の税率等の改定を行う、との説明がありました。

委員会では、国民健康保険事業の運営に関する協議会における、今回の税率改定についての審議結果は、との質疑があり、執行部からは、協議会においても現在の厳しい財政状況においては税率改定はやむを得ないとの意見であった、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第4号 筑紫野市手数料条例の一部を改正する条例の制定』の件について、ご報告いたします。

本件は、コンビニエンスストア等における証明書の交付サービス開始に伴う証明書交付手数料には、減免を適用しないため、条例の一部を改正するものです。

委員会では、コンビニエンスストア等で証明書を発行する場合に、事業者を支払う事務手数料は発生するのか、との質疑があり、執行部からは、1件当たり117円の事務手数料が発生する、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第5号 筑紫野市印鑑条例の一部を改正する条例の制定』の件について、ご報告いたします。

本件は、コンビニエンスストア等における証明書の交付サービス開始に伴い、個人番号カードを利用し、コンビニエンスストア等に設置している多機能端末機を介して印鑑登録証明書の交付を可能とするため、条例の一部を改正するものです。

委員会では、印鑑登録者は、個人番号カードを持っていれば、印鑑登録証がなくても、コンビニエンスストアなどで取得できるということか、との質疑があり、執行部からは、コンビニエンスストア等に設置している多機能端末機に、個人番号カードの暗証番号を入力することで取得できるようになる、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和3年 第2回（3月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

議案第18号及び議案第19号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第18号 令和2年度筑紫野市一般会計補正予算（第9号）』の件について、ご報告いたします。

本件の歳出予算の主な内容は、基金積立事業として3億6527万1千円の増額、国民健康保険事業特別会計繰出金として3億1011万3千円の増額、新型コロナウイルス感染症関連予算として、小・中学校教育活動継続支援事業、2160万円の増額などをするものです。

委員会では、生活交通対策事業が補正増となった理由は何か、との質疑があり、執行部からは、新型コロナウイルス感染症の影響で、補助対象の路線バス利用者が約3割減少したことにより、事業者の収入が減少し、市が補助する額が増えたためである、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第19号 令和2年度筑紫野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）』の件について、ご報告いたします。

本件の主な内容は、歳出予算では、一般被保険者療養給付費3億

1千万円の減額など、歳入予算では、一般会計繰入金3億1011万3千円の増額や一般被保険者国民健康保険税滞納繰越分2億2485万1千円の減額などをするもので、歳入歳出それぞれ2億7711万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ97億1762万1千円とするものです。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和3年 第2回（3月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

議案第21号から議案第23号までの3件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第21号 令和2年度筑紫野市二日市財産区特別会計補正予算（第1号）』の件について、ご報告いたします。

本件の主な内容は、前年度繰越金が確定したことによる積立金の増額補正で、歳入歳出予算の総額をそれぞれ39万2千円増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ334万7千円とするものです。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第22号 令和2年度筑紫野市御笠財産区特別会計補正予算（第1号）』の件について、ご報告いたします。

本件の主な内容は、新型コロナウイルス感染症の影響による原木価格の急激な下落に伴う、事業実施の見送りによる、立木売払収入、造林補助金等の減額補正等で、歳入歳出予算の総額をそれぞれ842万3千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ798万3千円とするものです。

質疑、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第23号 令和2年度筑紫野市平等寺山財産区特別会計補正予算（第1号）』の件について、ご報告いたします。

本件の主な内容は、新型コロナウイルス感染症の影響による原木価格の急激な下落に伴う、事業実施の見送りによる、立木売払収入、造林補助金等の減額補正等で、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2738万3千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ343万7千円とするものです。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和3年 第2回（3月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

議案第27号及び議案第28号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第27号 令和3年度筑紫野市国民健康保険事業特別会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、保険給付事業が主なものであり、歳入歳出予算の総額をそれぞれ99億2450万9千円とするものです。

委員会では、今年度と比べてマイナス予算となっているが、その要因は、との質疑があり、執行部からは、県への納付金が減少したことが主な要因であるが、これは、県全体で推計する医療費を基に定められる納付金額が、新型コロナウイルス感染症により減少した時期も含めて算定されたためである、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第28号 令和3年度筑紫野市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、借入金の償還が主な事業であり、執行部から、歳入歳出予算の総額をそれぞれ365万1千円とするものである、との説明がありました。

委員会では、償還の対象者はどのくらいか、との質疑があり、執

行部からは、対象者は20人で、そのうち、令和3年度で償還が終了する方が6名、令和4年度以降も継続して償還予定の方が14名である、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和3年 第2回（3月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

『議案第31号 令和3年度筑紫野市後期高齢者医療事業特別会計予算』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本予算の歳出予算は、福岡県後期高齢者医療広域連合への納付金が主なものであり、執行部から、歳入歳出予算の総額を、それぞれ前年度比1.3%増の24億6955万7千円とするものである、との説明がありました。

委員会では、後期高齢者医療の対象者はどの位なのか、との質疑があり、執行部からは、1万2359人を見込んでいる、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和3年 第2回（3月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

議案第34号から議案第36号までの3件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第34号 令和3年度筑紫野市二日市財産区特別会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、歳入歳出予算の総額を306万8千円とするものであり、湯町にある駐車場の維持管理が主な事業です。

なお、この予算は2月19日に開催された管理会の同意を得て、提案されました。

質疑、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第35号 令和3年度筑紫野市御笠財産区特別会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、歳入歳出予算の総額を1727万円とするものであり、山林経営が主な事業です。

なお、この予算は2月22日に開催された管理会の同意を得て、提案されました。

委員会では、今年度に引き続き、来年度も新型コロナウイルス感染症の影響により事業が実施されないことはあるのか、との質疑があり、執行部からは、木材市場価格の動向によるところが大きいと、

現在のところ、市場動向は良好であり、事業実施に問題はないのではないかと考えている、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第36号 令和3年度筑紫野市平等寺山財産区特別会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、歳入歳出予算の総額を3545万3千円とするものであり、山林経営が主な事業です。

なお、この予算は2月22日に開催された管理会の同意を得て、提案されました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和3年 第2回（3月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

議案第39号及び議案第40号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第39号 令和2年度筑紫野市一般会計補正予算（第10号）』の件について、ご報告いたします。

本件は、歳出予算として、新型コロナウイルス感染症に係る支援策である、介護サービス事業者への特別給付金支給事業、中小企業緊急支援事業、雇用調整助成金活用支援事業などを1億6170万円増額し、歳入予算として、国庫補助金を同額、増額するものです。

委員会では、各支援策の対象事業者数はどのように算出したのか、との質疑があり、執行部からは、市で把握している実数やこれまでの支給実績に今後想定される分を加味して算出したものである、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第40号 令和3年度筑紫野市一般会計補正予算（第1号）』の件について、ご報告いたします。

本件は、歳出予算として、福岡県知事選挙執行事業や新型コロナウイルス感染症に係る支援策である、保育環境改善事業、地域活性化商品券補助事業などを7996万9千円増額し、歳入予算として、

国庫補助金、県補助金及び県委託金を同額、増額するものです。

委員会では、スクール・サポート・スタッフ等配置事業において、各小中学校への人員の配置予定は、との質疑があり、執行部からは、消毒作業などを行うスクール・サポート・スタッフ1名と教職員の業務を支援する学習支援員1名である、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。